

【社会】



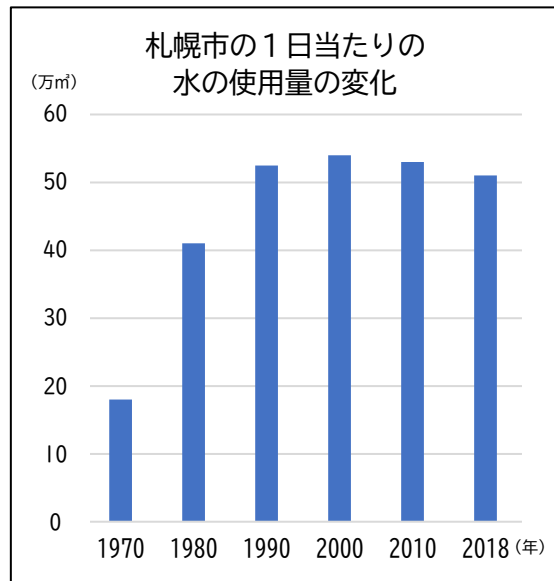
＜学習内容＞

◆「生活の中での水の使われ方」「水のじゅんかんについて考える」（教科書34～37ページ）や地図帳、持っている資料などをもとに、生活に欠かせない水について調べ、取組シートやノートに取り組もう。

ことば（教科書 P35）

(1) わたしたちは、大切なしげんである水を、日ごろどのような場面で使っていますか。考えて、いくつか書いてみましょう。

(2) 右のグラフは、「札幌市の1日当たりの水の使用量の変化」のグラフです。グラフを見てわかることを2つ以上書きましょう。



※「2000年までは～」 「2000年よりあとは～」など変化に注目しよう。

※「m<sup>3</sup>」は「立方メートル」といって、たて、横、高さがそれぞれ1mのようきに入る量のことです。

(3) 教科書47ページ「4 水のじゅんかん」の図を見ながら、水のじゅんかんについて考え、下の（ ）に言葉を入れよう。

- ・（ ）や地上にある水が、水じょう気になって（ ）がふる。
- ・雨になってふった水は、（ ）や地下などを流れて、さいごは（ ）に出る。

(4) 札幌市には197万人ものたくさんの方が住んでいるのに、どうしてわたしたちは、いつでも安心してきれいな水を使うことができるのでしょうか。自分の考えを書いてみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「水の使われ方」

・グラフの変化の傾向を読み取り、その上でなぜそのような変化が起きたのか予想したり一緒に調べたりすると、考える力が育まれていきます。